

あたたかい子
かしこい子
たくましい子

学校だより

つよし

—第36号—

令和元年12月23日
平戸市立津吉小学校
文責 校長 田川定司

2学期、御協力ありがとうございました！

長かった2学期も明日で終わりを迎え、明後日から冬休みに入ります。2学期は、小陸競・学習発表会・持久走大会等を開催し、大変多くの保護者・地域の皆様に子供たちの元気な活動の様子をご覧いただきました。多くの行事の中で、子供たちはさらにたくましく成長しました。

特に持久走大会では、自分の目指す目標に向かって一生懸命走る子供たちの姿が見られ、心身ともに「たくましい子」に成長した姿を見ていただきました。子供たちは、朝や体育の時間など日々の学校生活の中で一生懸命練習に取り組んできました。その練習の成果が大会では発揮できたと思います。大会本番の時だけ頑張るのではなく、目標に向かって長い時間をかけ成し遂げることをこれからも大切にして欲しいです。

学校で行うことは、勉強をはじめ決して楽しいことばかりではありません。得意なことや好きなことを伸ばすとともに、嫌なこと苦勞することにも我慢しながら取り組み続ける力も必要です。やさしく楽なことばかりの繰り返しでは、子供は自分の可能性を大きく伸ばすことができません。

剣豪の宮本武蔵が書いた五輪書の中では、「鍛錬」という言葉で次のように表現されています。

「千日」の稽古を「鍛」とし、「万日」の稽古を「錬」とする

千日とは1000日のことで約2年9か月（ $1000 \div 365 \approx 2.74$ ）

万日とは10000日のことで約27年5か月（ $10000 \div 365 \approx 27.4$ ）

を示しています。

「鍛錬」とは、何年も長い期間、長い時間をかけ、自分の能力を限りなく伸ばし磨くものです。またこの書の中では、今日は昨日の自分に勝ち、明日は今日の自分に勝とうと「千里の道も一歩から歩いていく」とも示されています。

自分の夢をかなえ、目標を達成したいのなら、子供自身、自分を鍛えなくてははいけません。目標に向かって努力する姿勢や態度が大切なのは、運動に限ったことではありません。様々な場で必要なものです。子供たちが、「目の前の困難から逃げることなく、いつも挑戦する勇気と努力する姿勢」に惜しみない声援をおくる学校、家庭、地域でありたいと思います。

『鍛えたところが強くなる。頭でも、体でも、心でも。』 相田みつをさんの言葉です。



1月行事予定

- 1日（水）元日
- 8日（水）第3学期始業式・地区児童会
- 9日（木）体位測定（高）
- 10日（金）体位測定（低）
- 13日（月）成人の日
- 15日（水）書き初め大会
- 20日（月）～24日（金）
オープンスクール・書き初め展
- 22日（水）授業参観・学級懇談会
- 27日（月）クラブ活動
- 30日（木）入学説明会